

女性の視点から見た重点計画の評価 - インターネットアンケートの実施結果について -

日常の生活実感に即した意見を得ることが可能と思われる女性の視点から社会資本整備重点計画素案の評価を定量的に把握するため、全国の女性を対象に、インターネットによる意識調査を実施した

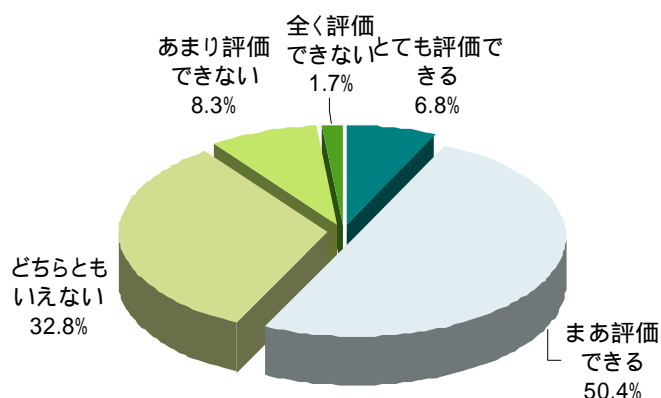
調査期間：平成 15 年 7 月 31 日～8 月 5 日。

調査対象者数：全国の 2,800 名の女性

回答数：249 通（うち 57%が 30 歳代）

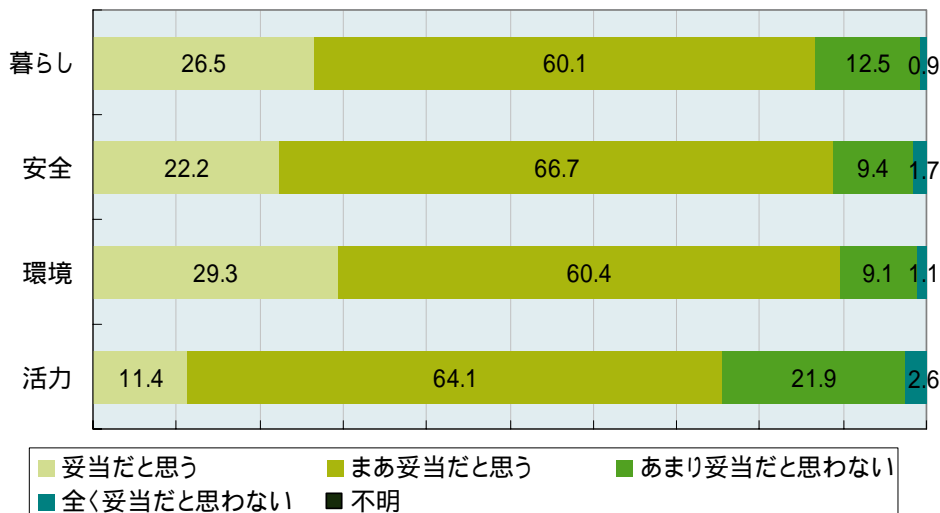
1 . 長期計画の一本化とこれからの取組みに対する評価

長期計画の一本化、社会資本整備を重点的、効果的かつ効率的に行うための取組み（第 1 章）に関し、過半数が評価。



2. 重点目標の設定の妥当性

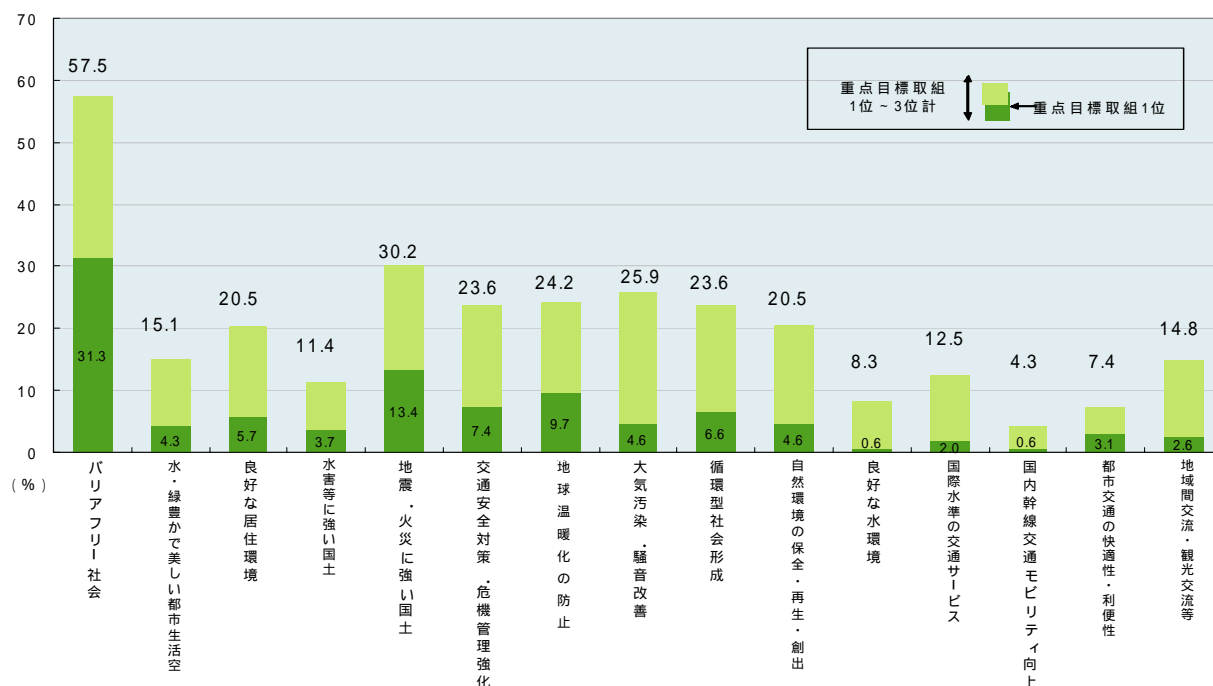
4テーマ15の重点目標の設定については76～89%が評価。



3. 重点目標の優先度

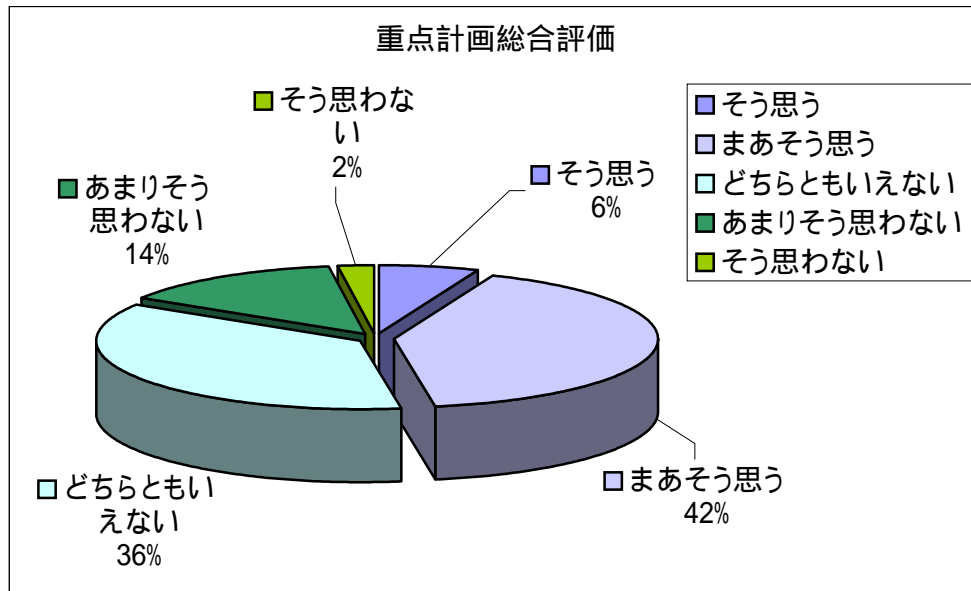
生活者の視点では、「少子・高齢社会に対応したバリアフリー社会の形成」、「大規模な地震・火災に強い国土づくり」、「都市の大気汚染及び騒音等に係る生活環境の改善」等が上位を占めている。

優先的に取り組むべき重点目標



4 . 計画全体の評価

本計画を総覧して、約半数が将来の生活に展望が持てると思っている。



5 . 主な自由意見

目標はいいが、いかに実践していくかが重要。

地域毎に異なるニーズを汲んだ地域別の計画もあってよい。

住民とのコミュニケーションを取り入れようとする姿勢は評価できる。

内容が抽象的で現実感が乏しい（身近で具体的な例示が必要）

社会資本整備重点計画の認知、関心を高め、関心を維持しつづけるためには、

- ・積極的に重点計画の存在を生活者に知らしめる（様々な媒体の活用）
- ・生活者にとって身近な存在と思えるような仕掛け（インターネット、地域レベルでのセミナー、総合学習に提供できる教材づくり）
- ・計画を発表するだけでなく、毎年の進捗状況や実際に整備された具体例を発表すること

等の取組みが必要。